

家譜 寛永十七年十二月くめく

大猷院殿子ままえたてまりあり 御日記 家譜

後父子継く頼房卿子つふ 家譜 子孫 松平志摩守

重喜の時某年世嗣 かくして家より

源太郎正村ハ岐守正朝三男あり

参松系傳 〇按之る子寛 永譜より二男の系より 武藏子生れ元和五

年四月はめく

台徳院殿武并く同八年あり仰り

とくま

大猷院殿子結うまい聖年清小性

組以番士とるま寛永譜寛永元年

清小性小後あり 寛永譜 東去實録 同二年清書院

番とりり 寛永譜 廩米三百俵以賜り同

十年二百石の地以加へるま廩米以

采地を改めるれと五百石と知り

家譜 同十五年普請以事と奉り

寛永
譜

同十九年十月廿五日子死以法名成

道覺といふ嗣へき子ありしなり

家絶るなり

参松
系傳

松平

太郎左衛門源景忠うけハ外記忠次ちんじの子

ありとてめ彌九郎と稱なづは寛永信

光君ハ七男彌三郎元芳のち 按山名子松平系
諸集参考あり

外記則定法名元芳と云るは又
則宗忠實等の名見えたり 三河國寶飯郡

五井こい子住せし久五井の松平を稱

し其子を太郎左衛門元心といふ 按山名
系

貞享書上五太郎左衛門母勝法名元心とありしと寛永譜
元心といふとよませしは一八全く名なる事ありし